

会計区分	01	一般会計
大事業	61	6つのまちづくり宣言
		目指す姿 政策体系に基づかないその他の事業
中事業	04	主要な取り組み
小事業	35	私立保育園運営費等補助事業

令和6年度 事業評価書

事業主体	17200000	健康こども こども未来
02	児童福祉費	03
03	児童保育費	
目標値	-	

目標年度 令和6年度

事業実施の背景にある課題	未満児の保育需要は増加している。保護者が安心して子どもを預けることができるよう待機児童0人を維持する必要がある。 私立保育園が経営難に陥ると待機児童が発生する恐れがある。私立保育園の供給量(入園枠)を確保することで、保育に欠ける児童を預かる体制の整備が求められている。
対象	民間保育所5園、認定こども園3園、地域型保育所(事業所内保育所)、小規模保育所幼児教育・保育の無償化の対象となった認可外保育施設・預かり保育事業利用者
目的	運営費負担金、補助金、給付費を交付することにより、保育園等の円滑な運営及び経営の安定化、保護者の負担軽減を図ることにより、保育環境を整え、安心して子どもを預けられるようにする。
概要	家庭での保育に欠ける児童を民間保育園、民間こども園、地域型保育所にて保育を委託するための運営委託費及び補助金交付。 幼児教育・保育の無償化により対象となった認可外保育施設・預かり保育利用者への保育料の施設利用給付。 国県制度だけでは、私立保育園等の経営が安定しないため、市単独補助金(食物アレルギー対応給食提供事業、障がい児保育対策事業、措置対策事業)により、安心して子どもを預けられるように支援する
事業費(千円)	R02 R03 R04 R05 R06
予算額	1,404,499 1,667,339 1,384,236 1,447,412 1,733,284
決算額	1,238,067 1,608,215 1,296,025 1,377,345 1,563,361
年間の事業に要する時間 (正職員/正職員以外)	4,175 / 2,257

活動指標(単位)		R02	R03	R04	R05	R06
待機児童数の減少 (各年度1月末現在)	目標値	0	0	0	0	0
	実績値	0	0	0	0	0

KPI(単位)		R02	R03	R04	R05	R06
私立保育園利用児童数 (各年度1月末現在1,100人を維持)	目標値				1,100	1,100
	実績値				1,234	1,226

実績	市単補助 食物アレルギー7園、障がい児保育5園、措置対策11園 民間保育所に対する補助金対象事業の追加 1事業(医療的ケア児保育支援事業)
効果	運営費負担金、補助金、施設利用給付、市単独補助金により、私立園の運営を支援することで、私立保育園の供給量が確保できている。

活動指標分析 目標値の達成 ・未達成要因	公立・私立を合わせて保育の量が確保できているため、待機児童が発生していない。 私立保育園の供給量を確保することで待機児童数0人を狙うため、R7年度以降のKPIと活動指標を入れ替える。 また、令和8年度より公立保育園の民営化を予定しているため「私立保育園利用児童数」の目標値をR8年度から変更する。
KPI分析 目標値の達成 ・未達成要因	運営費負担金、補助金、施設利用給付、市単独補助金により、私立園の運営を支援することで、私立保育園の供給量が確保できている。 私立保育園の供給量を確保することで待機児童数0人を狙うため、R7年度以降のKPIと活動指標を入れ替える。
実績からR07年度の事業の方向性	引き続き、必要となる運営費負担金、補助金、施設利用給付を行っていく。 R7年度は、公立保育園の民営化による私立園の建設、老朽化に伴う私立園の建設、計2園の建設にかかる補助金の支出を行う。

インプット

アウトプット

アウトプット

アウトカム